



# 宇宙スキル標準 キャリアパス一例集

令和8年2月27日

# 本資料の位置づけ・記載内容について

## 位置づけ

- 本資料は、宇宙業界で活躍する多様な人材のキャリア事例を紹介し、学生や他分野の方々が自身のキャリア形成を考える際の参考となる情報を提供することを目的とした事例集です。

## 記載内容

- ① 氏名
- ② 所属
- ③ 経歴
- ④ 今後、宇宙スキル標準を活用される方へのメッセージ
- ⑤ 今後のキャリアの展望
- ⑥ スキル向上の過程での「苦労・挫折」と「乗り越えるための取り組み」
- ⑦ 学生時代から今までの経歴の詳細
  - ・ 専攻／役職
  - ・ 担当業務
  - ・ 身に付けた・向上したスキル

例：

**1** 氏名 金澤 誠

**2** 所属 一般社団法人SPACETIDE

**3** 経歴 2011年に新卒で三井物産株式会社に入社。同社にて環境エネルギー分野の新規事業開発に従事後、PwCアドバイザリー合同会社でM&A支援業務等を経験。2017年、宇宙スタートアップSpace BD株式会社に入社。事業開発マネージャーとして国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟や国産ロケットの利用促進に貢献。2020年より取締役COO就任。2023年からはSPACETIDEなどにおいて、宇宙産業の人的基盤強化に資する取り組みに従事している。

**4** メッセージ 宇宙産業での業務は、「総合格闘技」とも言われるように、多面的なスキルや能力が求められます。その意味では、多様なバックグラウンドの人材が活躍できる領域であるといえます。宇宙スキル標準は、成長著しい宇宙産業を職業選択の一つとする際の「入口」となる指標であり、自身の強みや伸ばすべき能力を可視化する有効なツールです。ぜひ有効に活用し、最初の「0.5歩」を踏み出していただけたことを願っています。

**5** 今後のキャリアの展望 2026年から事業開発の現場に復帰し、培った国際ビジネス経験を活かして、宇宙産業の国際協調やサービス統合に貢献したいと考えています。多国間ステークホルダーと連携し、産業発展に寄与する仕組みづくりの担い手を目指し、専門性と実践力をさらに高めます。また、SPACETIDEや日本宇宙少年団を通じ、人的基盤強化や宇宙教育の取り組みも継続します。

**6** 苦労や課題、乗り越えた経緯 宇宙産業に転じた当初は技術知識や法制度の理解不足に直面し大きな壁を感じましたが、独学と実務を兼ね、知識を体系的に蓄積しました。事業立ち上げや組織拡大では失敗も多く、試行錯誤を繰り返しながら利害関係者を束ねる力を磨きました。

**7** 学生時代から今までの経歴の詳細

学生時代	1~4年目：商社	5~6年目：大学	7~8年目：コンサル	9~14年目：宇宙商社	15年目～現在：SPACETIDE 他
<b>専攻</b> 経済学部経済学科 国際経済 <b>身に付けたスキル</b> ・ 語学力（英語、中国語） ・ 予算／資金管理 ・ 外為業務 ・ 調査・動向把握	<b>役職</b> ・ 金属資源本部 環境ソリューション室 <b>担当業務</b> ・ 事業の新規立ち上げ ・ 企業への投資管理 <b>新たに身に付けたスキル</b> ・ 計画策定 ・ システムデザイン・マネジメント ・ コミュニケーションマネジメント	<b>専攻</b> Master of Business Administration (MBA) <b>向上したスキル</b> ・ 語学力（英語） ・ 予算／資金管理 ・ 資金調達 ・ 外為業務 ・ 調査・動向把握 ・ 計画策定 ・ システムデザイン・マネジメント	<b>役職</b> ・ M&Aアドバイザリー部門 アソシエイト <b>担当業務</b> ・ 案件のプロジェクトマネジメント ・ 企業価値算定 ・ 法務・財務・税務に係るアドバイザリー <b>新たに身に付けたスキル</b> ・ プロジェクト統合マネジメント ・ タイムマネジメント	<b>役職</b> ・ ~2020年：事業開発マネージャー ・ ~2022年：取締役COO <b>担当業務</b> ・ 事業の立ち上げ ・ 国際協調プロジェクトの企画・実行 <b>向上したスキル</b> ・ 左記スキル全般	<b>役職</b> ・ Head, People Development Program <b>担当業務</b> ・ 宇宙スキル標準策定委員 ・ 宇宙ビジネス人材の育成 ・ 宇宙・核融合分野の採用支援 ・ 大学機関での講師 <b>新たに身に付けたスキル</b> ・ 人材採用 ・ 人材配置

# 目次

			ページ数
1	サイエンスライター	秋山 文野 氏	4
2	一般財団法人リモート・センシング技術センター	荒井 頼子 氏	5
3	株式会社Synspective	梅本 壮一郎 氏	6
4	一般社団法人SPACETIDE	金澤 誠 氏	7
5	一般財団法人リモート・センシング技術センター	川上 雅人 氏	8
6	スカパーJSAT株式会社	T.M 氏	9
7	IMV株式会社	寺田 祐典 氏	10
8	Space BD株式会社	前田 光佑 氏	11
9	三井住友海上火災保険株式会社	松原 一晴 氏	12
10	株式会社ロケットリンクテクノロジー	森田 泰弘 氏	13
11	株式会社QPS研究所	山下 和志 氏	14



氏名	秋山 文野	所属	フリーランス (サイエンスライター)
経歴	1990年代からPC雑誌編集部で編集・ライターを経てサイエンスライターへ。ロケット、人工衛星から宇宙探査、宇宙政策、宇宙ビジネス、宇宙開発史まで幅広く取材執筆。小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクト取材から2010年に電子書籍『「はやぶさ」7年60億kmのミッション完全解説』を刊行。訳書に『ロケットガールの誕生』。2023年4月より文部科学省 宇宙開発利用部会臨時委員に就任、第6回宇宙開発利用大賞選考委員を務める。		
メッセージ	宇宙活動への理解は宇宙だけで完結するものではなく、地上の技術、政治、文化、地理的事情の上に成立しています。ダイナミックに変化する現在に身を置くことはワクワクするものの、そのスピードに疲れてしまうこと時にはあるかもしれません。そんなときに、宇宙スキル標準に照らして自らの位置を確認することで、また前に踏み出すことができる固い基盤に足を置いていると実感できます。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

衛星データユーザーとしての実感から、人工衛星（特に地球観測衛星）の技術を読み解くスキルを強化します。開発・運用の技術思想を深堀り取材で解き明かし、多様な波長を最新のアプリケーションに展開する道筋を表現できるようになりたいです。宇宙政策の現場に関わる立場で歴史と現在の宇宙開発環境から、将来を展望する解説者を目指しています。

### 🚀 苦勞や課題・乗り越えた経験

IT系テクニカルライターから宇宙分野のサイエンスライターへ専門分野をシフトした際、宇宙機関、各種プロジェクトの取材を重ねるも、外野ゆえに技術の核心を掴むことができないギャップに悩みました。欧州 Copernicus計画の教材から独学で衛星データの解析を学び、ユーザーとしての実感から衛星技術の在り方を自分ごととして取材記事に反映できるようになったと感じます。

#### 1~3年目：出版社

**役職**

- 編集部

**担当業務**

- 雑誌編集、政策

**身に付けたスキル**

- 雑誌記事企画立案
- 編集
- 記事執筆制作
- 外部スタッフマネジメント

#### 4年目~現在：フリーランスサイエンスライター

**役職**

- サイエンスライター

**業務内容**

- サイエンス・テクノロジー記事企画立案
- 宇宙プロジェクト取材
- 宇宙技術、プロジェクト解説記事執筆
- 書籍企画立案、制作
- サイエンス翻訳書企画立案
- 書籍翻訳

**身に付けたスキル・向上したスキル**

- テクニカルライティング
- インタビュー、取材
- 解説記事執筆
- 語学力（英日翻訳）

#### 2022年~現在：衛星データ分野での活動

**業務内容**

- 衛星データ解析
- 衛星データをベースにした調査報道記事制作
- 衛星データ解析を利用した調査報道手法の教材開発

**身に付けたスキル**

- 画像処理・解析技術
- リモートセンシング
- 光学センサ
- SARセンサ（合成開口レーダ）
- 地理情報システム（GIS）
- 調査報道記事制作
- 教材開発



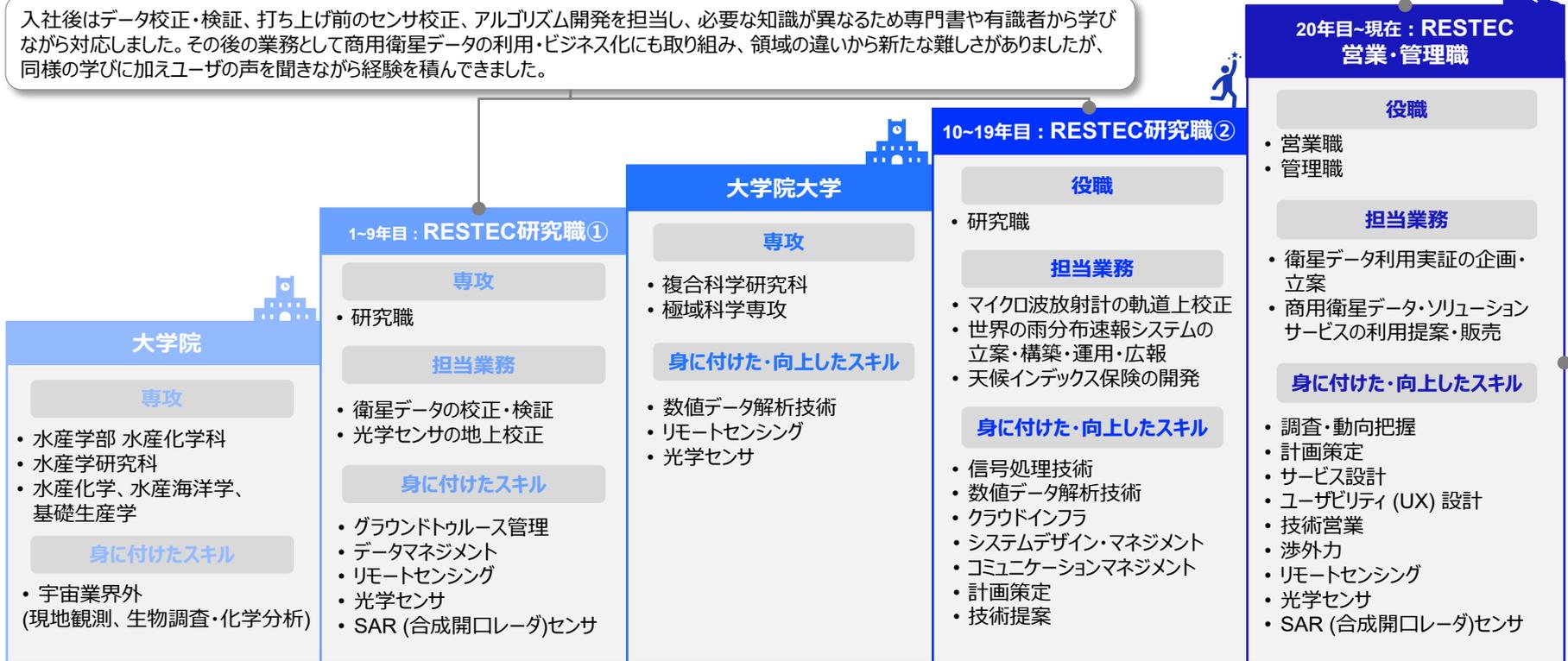
氏名	荒井 頼子	所属	一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)
経歴	学生時代は水産海洋学を専攻し、現地調査を中心に研究。新卒入社後は約20年間、JAXA衛星の校正・検証や高次プロダクトのアルゴリズム開発に関する業務に携わり、衛星データの処理・解析技術を習得。その間に海洋解析研究で社会人ドクターを取得。さらに約9年間、商用光学・SAR衛星データの販売、ソリューション企画・提供、シンクタンク活動に従事。		
メッセージ	宇宙業界に限定されない多様な知見こそ、これから大きな力になると感じています。宇宙スキル標準を活用しつつ、皆さまの経験が新たな価値を生み出す場面は必ずあります。興味を持てるプロセスから、一緒に挑戦を始めてみませんか。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

これからは衛星データ事業だけでなく、社会課題の解決に直結する仕組みを生み出す役割を担いたいと考えています。衛星データを「使うこと」を目的にするのではなく、「社会をより良くする活動」の中で自然に提案できるよう、技術・解析・研究・ビジネスを統合したコンサルティングのスキルを身につけていきたいです。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

入社後はデータ校正・検証、打ち上げ前のセンサ校正、アルゴリズム開発を担当し、必要な知識が異なるため専門書や有識者から学びながら対応しました。その後の業務として商用衛星データの利用・ビジネス化にも取り組み、領域の違いから新たな難しさがありましたが、同様の学びに加えユーザの声を聞きながら経験を積んできました。





氏名	梅本 壮一郎	所属	株式会社Synspective
経歴	新卒で応用技術株式会社に入社し、水圏防災に関する数値シミュレーション業務に従事。河川氾濫・津波・高潮時の浸水被害予測や河川流況解析を担当。その後、株式会社Synspectiveに転職し、カスタマーエンジニアとしてSAR衛星データを活用したソリューション提供に携わり、都市計画やインフラ開発の効率化、自然災害への対処といった領域で顧客と開発チームの橋渡しを行いながらプリ・ポストセールスを推進。		
メッセージ	宇宙業界は業務内容が見えにくい印象を持たれがちですが、「宇宙スキル標準」を活用すれば、業界構造や職種スキルを分解し、自分の経験との共通点を見つけられます。さらに、興味のある領域で学べき分野も明確になります。転職を考える方にとって、これはスキル棚卸しやキャリア整理に役立つ指針です。宇宙と聞いて少しでもワクワクしたなら、その気持ちを行動に変えて、一歩踏み出すことを勧めたいです。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

顧客のニーズを深く理解し、技術的な視点から価値あるソリューションサービスを提供できるような顧客と開発の架け橋となるエンジニアとして、SAR衛星データ解析を軸に、地球科学や土木工学の知識などをさらに深め、災害対応や都市計画など幅広い分野で価値を提供できる人材を目指しています。また、英語力を強化し、グローバルな顧客やメンバーとの円滑なコミュニケーションを実現することで、プロジェクト推進力を高めていきたいと考えています。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

水圏防災業界から宇宙業界へ転職後、リモートセンシングやSAR画像の知識不足、さらに語学力不足で挫折を経験。論文や専門書を読み、セミナー参加や社内ツール活用を重ねて衛星データに対する理解を深め、技術力を強化しました。これまで培った知見も掛け合わせて、多面的な視点での解析や解釈が可能となり、プロダクト開発や災害時など迅速な判断が求められる場面でも自信を持って貢献できるようになったと感じます。英語は日々勉強中です。

<p><b>学生時代</b></p> <p><b>専攻</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理工学部</li> <li>流体工学、燃烧工学、土木工学</li> </ul> <p><b>身に付けたスキル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CFD</li> <li>計算力学</li> </ul>	<p><b>1~6年目：ITソリューション企業</b></p> <p><b>役職</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解析技術者</li> </ul> <p><b>担当業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数値シミュレーションを通じて、ハザードマップや浸水想定区域図作成を支援</li> <li>河川整備計画や治水関連プロジェクトにおける水理解析を実施し、計画策定を支援</li> <li>数値シミュレーション技術を活用した研究開発</li> </ul> <p><b>新たに身に付けたスキル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データ前処理・アノテーション技術</li> <li>数値データ解析技術</li> <li>地理情報システム（GIS）</li> <li>営業・顧客対応</li> <li>技術提案</li> </ul>	<p><b>7年目~現在：Synspective</b></p> <p><b>役職</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カスタマーエンジニア</li> </ul> <p><b>担当業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の課題に応じた衛星データ活用ソリューションの提案</li> <li>各プロジェクトにおけるSAR衛星データ解析・解釈等のエンジニアリング業務</li> <li>他部門エンジニア・営業チームとの連携・調整</li> </ul> <p><b>新たに身に付けたスキル・向上したスキル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画像処理・解析技術</li> <li>リモートセンシング</li> <li>SARセンサ（合成開口レーダ）</li> <li>光学センサ</li> <li>新規顧客開拓</li> <li>語学力</li> <li>資料作成・文書化</li> </ul>
---	---	---



氏名	金澤 誠	所属	一般社団法人SPACETIDE
経歴	2011年に新卒で三井物産株式会社に入社。同社にて環境エネルギー分野の新規事業開発に従事後、PwCアドバイザリー合同会社でM&A支援業務等を経験。2017年、宇宙スタートアップSpace BD株式会社に入社。事業開発マネージャーとして国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟や国産ロケットの利用促進に貢献。2020年より取締役COO就任。2023年からはSPACETIDEなどにおいて、宇宙産業の人的基盤強化に資する取り組みに従事している。		
メッセージ	宇宙産業での業務は、“総合格闘技”とも言われるように、多面的なスキルや能力が求められます。その意味では、多様なバックグラウンドの人材が活躍できる領域であるともいえます。宇宙スキル標準は、成長著しい宇宙産業を職業選択の一つとする際の“入口”となる道標であり、自身の強みや伸ばすべき能力を可視化する有効なツールです。ぜひ有効に活用し、最初の“0.5歩”を踏み出していただけることを願っています。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

2026年から国際ビジネスの現場に復帰し、国際協調による宇宙産業の更なる発展に貢献したいと考えています。多国間のステークホルダーと連携し、産業発展に寄与する仕組みづくりを担うことを目指し、専門性と実践力をさらに高められるよう精進します。また、SPACETIDEや日本宇宙少年団での活動を通じて、人的基盤強化に資する取り組みも続けてまいります。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

宇宙産業に転じた当初は技術知識や法制度の理解不足に直面し大きな壁を感じましたが、実務と独学を重ね、知識を体系的に蓄積しました。事業立ち上げや組織拡大では失敗も多く、試行錯誤を通じマネジメント力と利害関係者を束ねる力を磨きました。





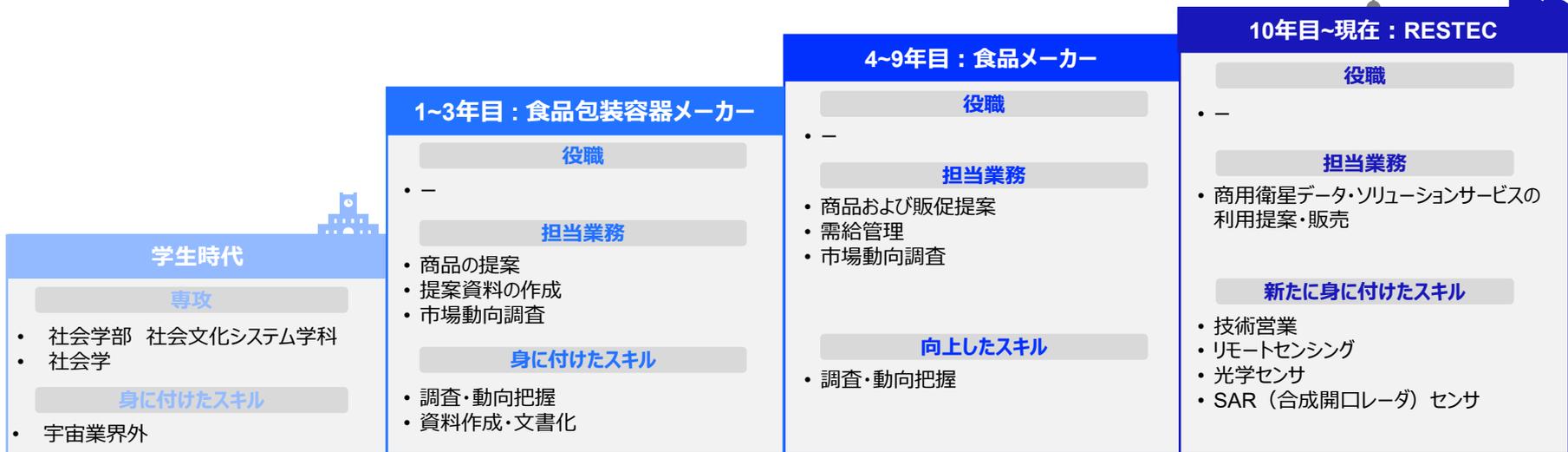
氏名	川上 雅人	所属	一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)
経歴	大学卒業後、食品用パッケージ容器の提案営業に従事し、食品包装資材商社や小売店に対して商品・メニュー提案を通じた課題解決を行う。その後、食品メーカーにて既存顧客の拡販や新規開拓、自社製品の認知度向上に携わる。現在は、衛星データの販売およびソリューションサービスの提供として、官公庁等への提案営業を行っている。		
メッセージ	宇宙スキル標準は、業務内容や必要な能力を整理し、自身の経験と結び付けて考えることができると思います。関心はあるものの具体的なイメージを持っていない方にとって、業界理解を深め、自身の経験をどのように活かせるかを検討する際の材料として活用いただければと思います。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

今後は、実証等を重ねて衛星データの活用事例を広げるとともに、新たな衛星データの取扱いに向けて国内外の衛星プロバイダーとの契約にも携わりたいと考えています。また、技術的な面の理解も深めていきたいです。将来的には、顧客ニーズをもとに新たな解析サービスやパッケージを企画し、衛星データを活用した新規事業やサービス展開を主導できる人材になることを目指します。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

食品業界から宇宙業界へ転職した際、リモートセンシングや衛星特有の専門用語の理解に苦労し、顧客要望を十分に把握できず戸惑う場面もありました。基礎資料の学習に加え、案件対応を通じて理解を深めています。そして、顧客との対話を重ねながら利用目的を整理した上で、衛星データの提案を行っています。





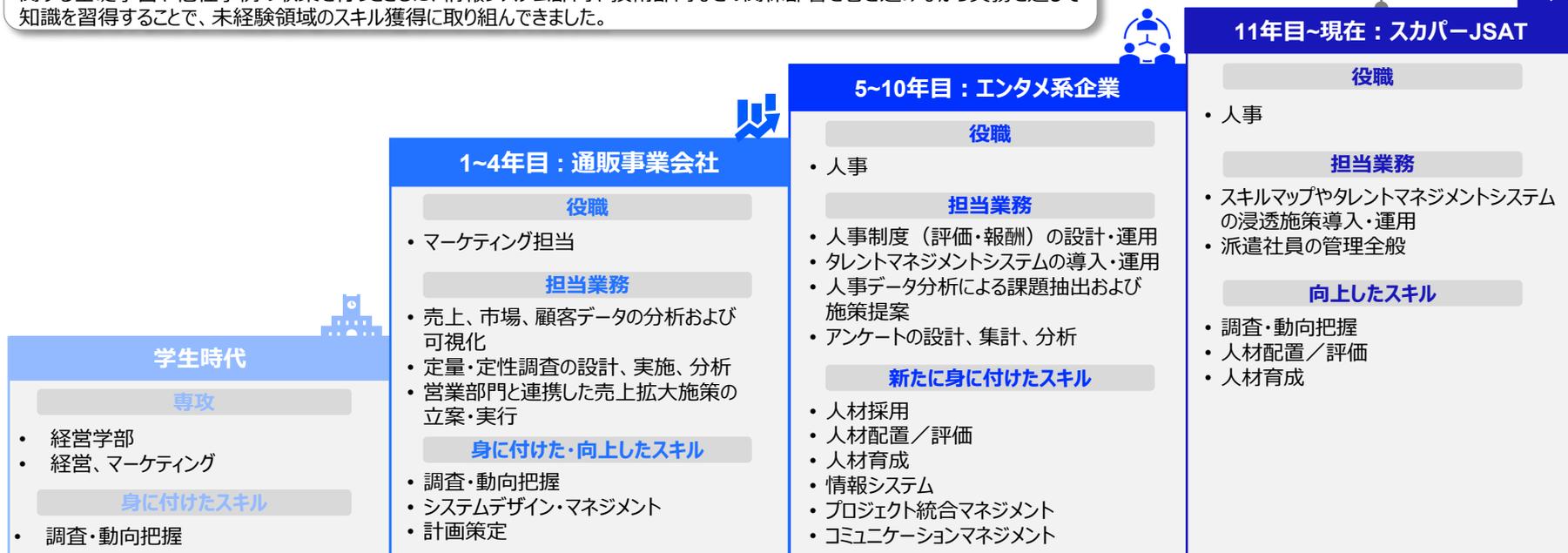
氏名	T.M氏	所属	スカパーJSAT株式会社
経歴	新卒で通販事業会社に入社し、マーケティング職として売上・市場・顧客分析をもとに施策提案に従事。その後、エンターテインメント系企業へ転職し、人事として人事制度の設計・運用、タレントマネジメントシステム導入、人事データ分析に基づく施策提案を担当。2025年には現職のスカパーJSAT株式会社へ転職し、主にスキルマップやタレントマネジメントシステムの浸透・運用に従事している。		
メッセージ	宇宙スキル標準は技術者だけでなく、私のようなコーポレートの人間であっても、今までの経験やスキルを客観的に整理が可能です。専門性や職種が異なっても、共通の枠組みで整理することで、新たなキャリアの可能性に気づきかけになるかもしれません。これまでの経験を振り返り、次の一歩を考える際には、ぜひ活用してほしいと思います。		

### 🎯 今後のキャリアの展望

今後は、データと人の両面から組織を支える役割を担いたいと考えています。これまで培ってきた人事施策企画や人事領域でのデータ分析の経験を活かし、戦略と現場をつなぐ人事となるために、人事・労務に関わる法令改正や社会動向を継続的に把握し、施策の質向上や業務改善に貢献していきたいです。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

人事へのキャリアチェンジ後、人材配置・評価や人材育成などの人事基礎知識に加え、タレントマネジメントシステム導入に必要な情報システムの理解や特に宇宙分野におけるスキルや評価の仕方についてのキャッチアップが不足していました。そこで人事制度に関する基礎学習や他社事例の収集を行うとともに、情報システム部門や技術部門などの関係部署を巻き込みながら実務を通じて知識を習得することで、未経験領域のスキル獲得に取り組んできました。





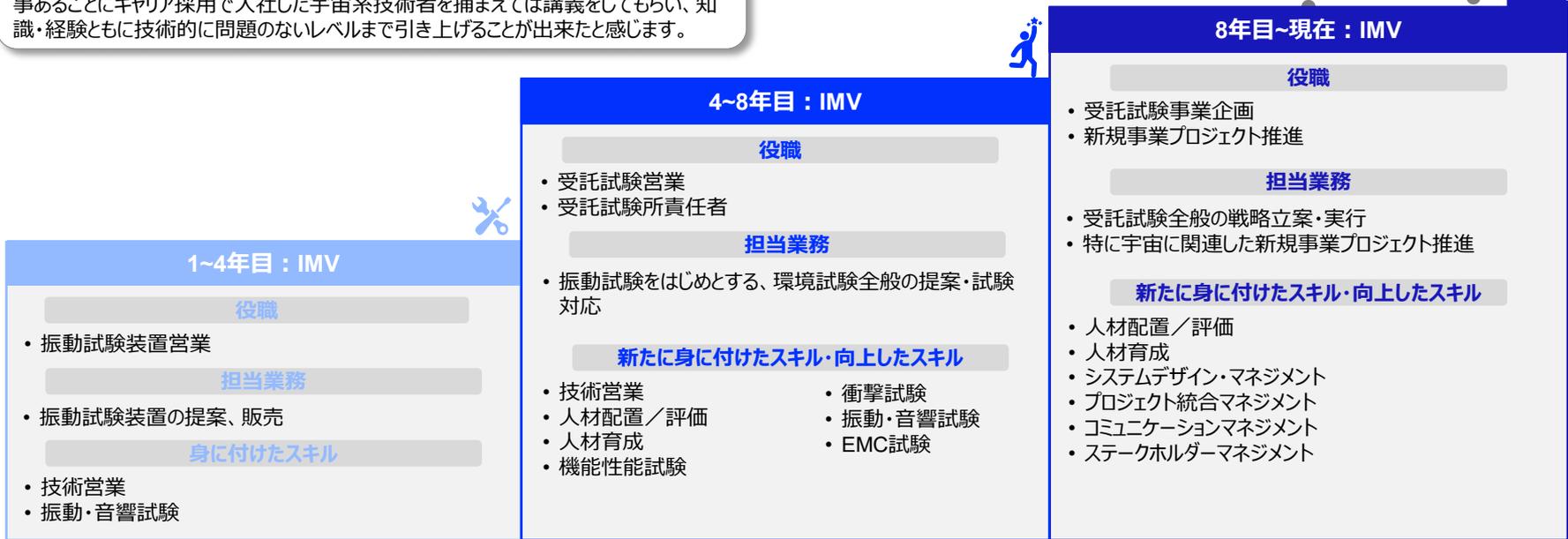
氏名	寺田 祐典	所属	IMV株式会社
経歴	愛知県立大学卒業後、完成車メーカーで法人営業に従事。その後、2015年にIMV株式会社へ入社。名古屋営業所での営業を経て、2020年10月より日本高度信頼性評価試験センター責任者に就任。現在は受託試験事業全体のセールス・マーケティングを統括する事業企画を担当。インターステラテクノロジズ社への出資立案・実行をはじめとした事業提携や、学生イベントへのスポンサーをリードする等、宇宙関連ビジネスを推進。		
メッセージ	宇宙業界は独特の慣習がまだまだ存在し、また、大ベテランがその知見と経験、技術をもとにしたKKD（勘と経験と度胸）による開発も少なくない状況です。これから他産業からの参入や他産業の部品転用なども進んでいくなか、他産業の経験を持つ方々を中心としてしっかりとKKDを標準に落とし込み、宇宙業界全体が次のステップにいくべきフェーズにきていると思います。宇宙スキル標準は宇宙業界を次のフェーズに持っていくことが出来る手法のひとつであり、更なる活用が求められています。ぜひ、皆で活用していきましょう！		

### 👁️ 今後のキャリアの展望

VUCAの時代と言われる中で、技術開発は更にスピード感を増して進められていくことが分かっています。そんな状況の中で、信頼性評価試験やそれに関連した機能試験など、幅広く対応することで、技術開発のスピードアップ・信頼性向上の支援を進めたいです。また、特に宇宙産業全体の底上げとなるべく、当社が持っている知見を使った新規事業の展開や試験に関連する研究開発も視野に入れ、事業全体を推進したいと考えています。

### 🏹 苦労や課題・乗り越えた経験

元々自動車業界の出身であり、且つ、営業畑でキャリアを進めていた矢先に受託試験所責任者となったため、技術面でのキャッチアップには非常に苦労しました。事あるごとにキャリア採用で入社した宇宙系技術者を捕まえては講義をしてもらい、知識・経験ともに技術的に問題のないレベルまで引き上げることが出来たと感じます。





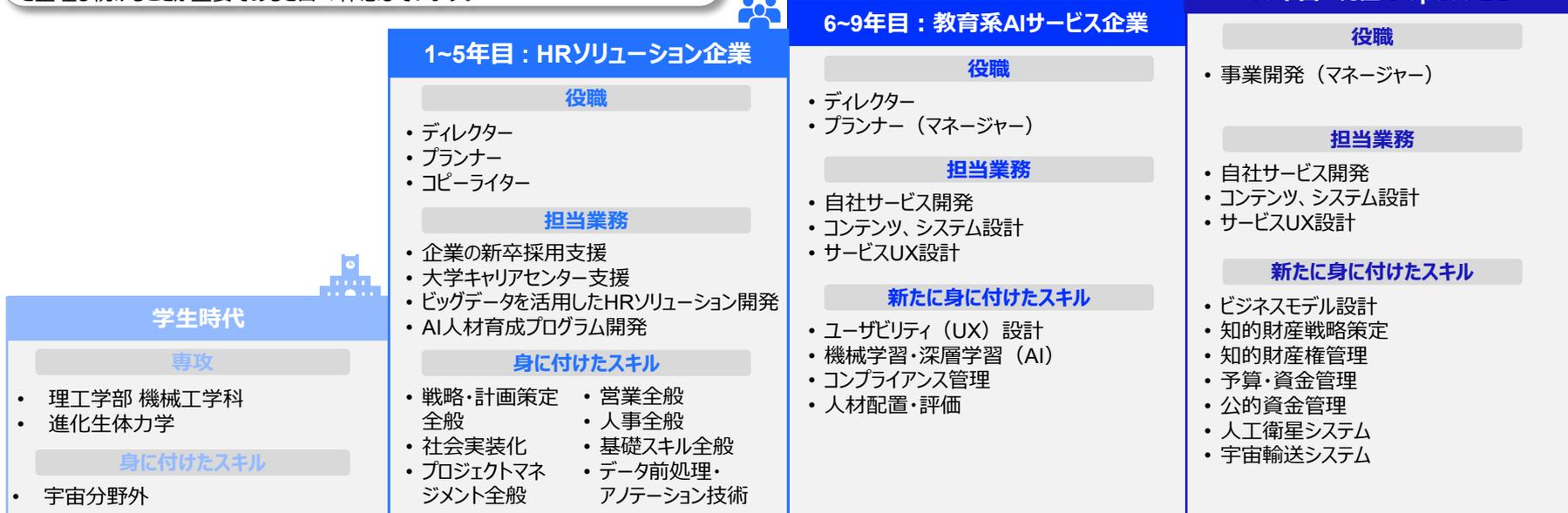
氏名	前田 光佑	所属	Space BD株式会社
経歴	慶應義塾大学理工学部卒業後、株式会社リクルートに新卒入社。新卒採用領域にて、企業の採用コンサルティング、コミュニケーションプランの策定、広告・制作物の企画、制作ディレクション等を担当。その傍ら、自社サービスの企画設計開発および販売促進支援などにも従事。その後、AIを活用した教育サービスを提供するatama plus株式会社にて転職し、コンテンツ開発のプランナー兼ディレクターとして、コンテンツ開発並びに学習体験設計（UX）に従事。現在はSpace BD株式会社にて、教育・人材開発領域で事業開発に取り組んでいる。		
メッセージ	あらゆる産業において人材要件の明確化は産業内部の人材においても、これから産業に飛び込む人材においても必要不可欠な一丁目一番地と考えています。宇宙スキル標準は宇宙産業の発展のために重要な一石を投じるものと確信しております。これまでの経験を活かし、一石で終わらぬよう継続的な発展に寄与してまいります。		

### ◎今後のキャリアの展望

黎明期である宇宙産業において、定型化された役務や職種に縛られず産業に貢献できることが極めて重要と考えます。1930年代から始まった自動車産業黎明期の時代に個人のキャリアのことを考えていた人はいないはずで、とにかく宇宙産業の発展に寄与、貢献できる人材になりたいと思います。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

非宇宙産業から宇宙業界へ転職し、産業化されていないビジネス領域で、前例がない中でいかにして戦略を策定すべきか、事業開発の難易度の高さに直面しました。一方で、産業共通なのはリーンなプロセスを意識し、MVP開発を心がけることだと再認識しています。加えて、他産業との共通項と違いを分析し、根本的な課題と価値を整理し続けることが重要であると日々体感しています。





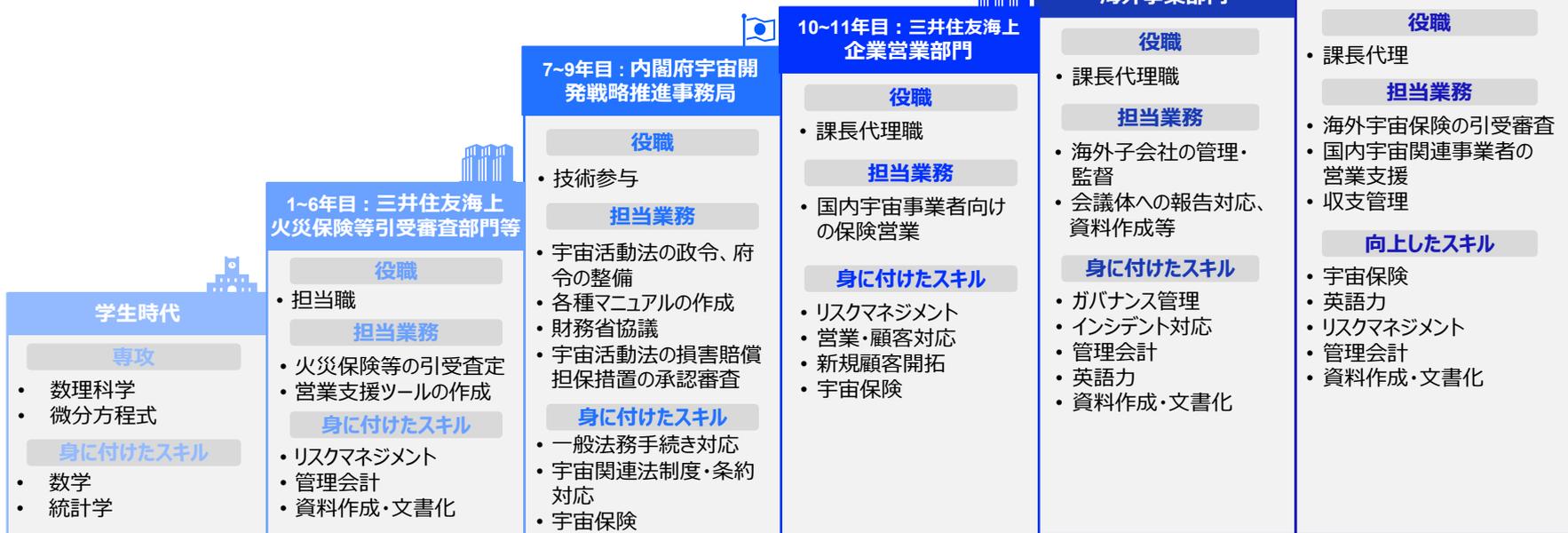
氏名	松原 一晴	所属	三井住友海上火災保険株式会社
経歴	2011年に新卒で三井住友海上火災保険株式会社に入社後、火災保険等の引受審査や企業営業等に従事。その後、内閣府宇宙開発戦略推進事務局で宇宙活動法の第三者賠償制度を3年間担当し、同法の下位規定やマニュアルの整備、財務省協議を担当。三井住友海上に復帰後、国内宇宙事業者への営業等を経験後、現在は海外の宇宙保険の引受審査や国内宇宙事業者向け宇宙保険の営業支援等に従事している。		
メッセージ	宇宙業界は外から見てみると夢のある世界の様に見えますが、いざ入ってみると、現実的で厳しい側面に多く直面します。ただし、イメージ通り夢はあり（今後急拡大する可能性がある数少ない業界）、世間からも注目され前向きな業界であることは間違いありません。スキル標準を活用し、是非その業界に一步を踏み出されることを勧めたいです。		

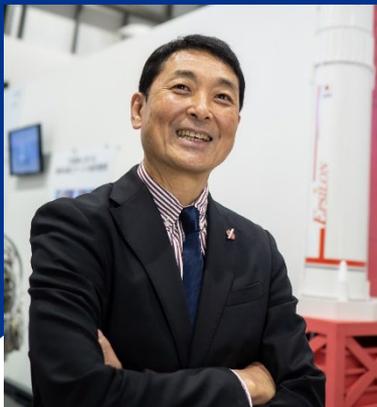
### 🚀 今後のキャリアの展望

引き続き宇宙技術への知識を深め、英語力を強化し、宇宙保険の引受審査能力やリスクマネジメント全般に関する知見を高めたいと考えています。また、そのスキルを用いて宇宙事業者へリスクマネジメントを提供し、国内外の宇宙産業の振興に貢献していきたいです。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

宇宙業界に初めて関わった際は、宇宙技術への知識、英語力の不足を感じました。特に宇宙保険の引受審査では運用中の人工衛星の健康状態や不具合状況を把握しリスクを評価するため、人工衛星の細部構造・機能の知識が必要であり、現在も独学やOJTを通じて知識を蓄積中です。





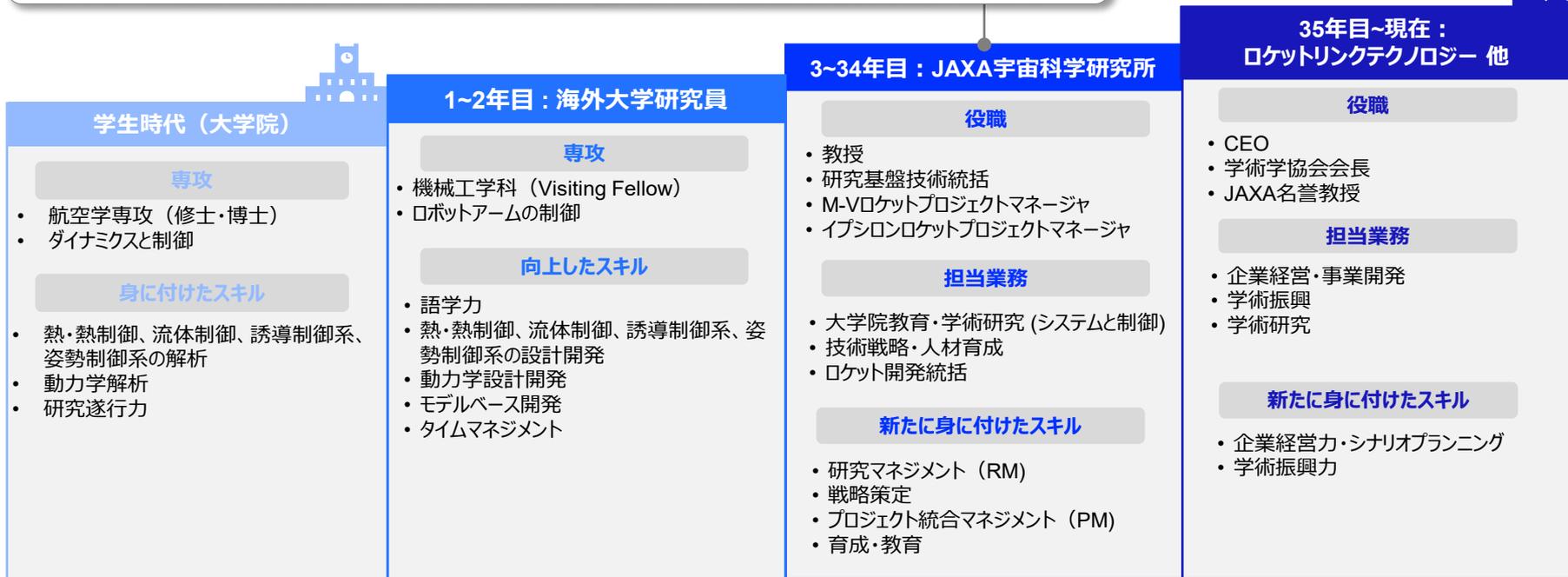
氏名	森田 泰弘	所属	株式会社ロケットリンクテクノロジー
経歴	JAXA在職中は、JAXA教授として大学院教育・学術研究を実施、JAXAプロマネとしてイプシロン等の開発計画を立案・実行、JAXA研究基盤技術統括としてJAXA技術戦略の立案・実行および職員の人材育成に従事してきた。JAXA定年退職後、ロケットリンクテクノロジーというJAXAベンチャーを立ち上げ、CEOとして事業を推進している。		
メッセージ	宇宙スキル標準をよく読むと、宇宙で必要とされるスキルの多くが一般の産業界でも重要なスキルであることが良くわかると思います。宇宙を目指すということは特別なことではなく、他の産業界の共通技術・基盤技術の多くが宇宙に活用可能です。そういう意味で、宇宙への敷居は一般に考えられるよりもはるかに低いと言えます。この宇宙スキル標準が、多くの人材が宇宙で活躍する励みになれると大いに期待しています。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

学術研究や技術開発の成果をビジネス展開するスキルを多くの人に持ってもらいたいと考えています。併せて、スピード感などビジネス感覚をもって学術研究や技術開発を実行できる人材を育てていきたいと思っています。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

私が若い時代のISASの人材育成は、丁稚奉公制度で育てるのが一般的でした。今から40年も前のことですので、昭和のやり方だったと思います。一塊の課題を丸ごと任せ、やり方は自分で考えるというスタイルでした。自分の力では及ばない部分は周囲に協力者を見つけてチームで立ち向かいました。それが大きな仕事をする上で一番大切なことであると知ったのはずいぶん後のことでした。





氏名	山下 和志	所属	株式会社QPS研究所
経歴	自動車メーカーにて10年間、トランスミッション設計を担当。量産試作部品の調達や改良部品の設計に加え、エンジン設計・車体設計など他領域との調整を行い、品質と納期を重視した確実な業務を遂行した。地元に近い福岡で働きたいという思いと、新たな分野への挑戦を志し、異業種である宇宙業界へ転職。現在は衛星の構造設計から調達、試験、評価まで、ものづくりの一連の工程に幅広く携わっている。		
メッセージ	宇宙業界は業務内容が分かりにくく、心理的ハードルを感じやすい分野ですが、宇宙スキル標準はそれを乗り越えるための有効なツールだと感じています。業界全体の構造や職種ごとに求められるスキルが整理・可視化されることで、自身のこれまでの経験や強みをどの領域で活かせるのかを具体的にイメージできます。宇宙業界への転職や挑戦を考えている方にはぜひ活用し、一歩踏み出していただきたいです。成長途上の業界だからこそ前例のない課題に挑戦でき、困難もありますが、それ以上に大きなやりがいを感じられる業界だと思います。		

### 🚀 今後のキャリアの展望

今後は衛星構造の評価手法をより確実なものとして体系化し、形状やミッションが異なる衛星でも円滑にものづくりへ落とし込める設計・開発プロセスを構築したいです。その中で、人工衛星の構造設計のプロフェッショナルとして、設計の中核を担える役割を目指します。また、構造原理への理解度を一層深め、その知見を自身だけでなくチーム全体へ共有し、アイデア創出と実行力のある活気あるチームの形成に貢献したいと考えています。

### 🚀 苦労や課題・乗り越えた経験

大手自動車メーカーからベンチャー宇宙業界へ転職し、当初は少人数で設計から調達・試作組立・試験・評価まで担う新しい環境に苦労がありました。特に限られた時間でのスケジュール管理や、宇宙環境を考慮した試作評価の計画には試行錯誤を重ねました。前職で培った解析に基づく設計力を活かしながら業務への理解を深め、現在は開発を円滑に推進できるようになり、引き続き専門性とスキルの向上に取り組んでいます。

#### 学生時代

**専攻**

- 工学部 交通機械工学科
- 機械設計、材料力学、熱力学

**身に付けたスキル**

- 構造設計 (AutoCAD)
- 自動車整備士2級

#### 1~12年目：自動車メーカー

**役職**

- エンジニアエンジン・トランスミッション設計エンジニア

**担当業務**

- 量産試作の調達
- 改良部品の設計 (FEM解析による強度評価)
- 他設計部門および製造部門との調整

**新たに身に付けたスキル・向上したスキル**

- 構造設計・解析
- 材料設計・解析
- 信頼性設計
- 安全性設計
- 整備性設計
- 品質管理

#### 13年目~現在：QPS研究所

**役職**

- 構造設計エンジニア

**担当業務**

- 人工衛星の構造設計
- 試験データ解析および性能改善提案

**新たに身に付けたスキル・向上したスキル**

- 構造設計・解析
- 材料設計・解析
- 信頼性設計
- 安全性設計
- 整備性設計
- 宇宙環境条件の反映 (設計・解析)
- 製品検査
- 機能性試験
- 衝撃試験
- 振動・音響試験